

「第9回 土木設計関係技術発表会」 発表概要書

発表内容	事例名（業務名）	令和3年度 木与防災惣郷地区測量業務
	業務発注者名	中国地方整備局 山陰西部国道事務所
発表者	所属協会名	山口県測量設計業協会
	所属会社	(株) タマエンジニアリング
	発表者名	古屋 誠

発表事例の概要 <図表も含め1000字(40字×25行) 程度以内>

1. 業務内容

木与防災工事により発生した残土の残土処理のため、公共測量として事業用地の借地に必要な用地測量を行った。

作業工種としては

4級基準点測量、現地測量、路線測量、用地測量を行った。

特徴としては、今回の用地測量については買収は行わず借地するため、境界復元について第14条地図を採用し、地積測量図と大きな差異がある場合は協議を行い決定した。

2. 評価された内容

コロナ禍での対応

地元企業の利を活かし、地元の作業員のみで履行体制を構築することで地権者との信頼関係を築いた。

タブレットの活用

境界確認作業において現地が急峻な地形で高齢者の出席が多い現地立会において、安全な場所でタブレットを活用し説明するなど工夫を施すことで地元合意がスムーズに図られ、効率的に借地協議など実施し、事業全体工程の遅延防止に努めた。

各工種の測量においてタブレットを活用することにより、現場の確認作業、再測のもれ等の作業時間の短縮等ができ、工期全体の遅延防止に努めた。

3. 工夫したこと

タブレットの活用での境界確認作業において、高齢者の出席が多い現地立会、コロナ禍における現地立会の方法等

- ・現地立会について、リモート境界確認を導入し動画等の視聴等をしてもらい境界について確認してもらった。
- ・高齢者：現地にいけないのでリモートで確認
- ・コロナ禍：複数人数の集まらない状況の解消